

第8回 『千葉上肢セミナー』について

会長よりご挨拶

前略

新緑の候、皆さまにおかれましてはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

千葉上肢セミナーも今年で8回目を迎えることとなります。初回からたくさんの研修医や若手の先生方に参加頂き、主催者一同たいへん嬉しく思っております。

今年も研修医を対象とした上肢セミナーを企画しましたので、ご案内致します。

「千葉上肢を語る会」は千葉大学の整形外科同門を中心に、肩・肘・手を専門分野とする医師の有志により創設されました。その目的は、上肢の整形外科に関する知識と技術を深めるための研鑽の場を持つことであり、平成9年12月に第1回目の集会在開催されて以来、今年で15年目を迎えます。

日頃、整形外科診療において上肢に関する疾病の頻度は高く、その種類も多岐にわたっています。従って、学ぶべき内容は膨大であり、基本的な事項を会得することは容易でない、と感じている方が多いことと思います。このセミナーの目的は、研修医の方々に、上肢領域における機能解剖・診断・治療の基本的な知識を習得して頂くことです。そして講師一同、明日の診療にすぐに役立つように、重要な事項の明快な解説を目指しております。また、昨年より「テーマ」を1つに絞って実施していくことにしております。

今年も土日併せて2日間のセミナーと致します。夜には通常とおり懇親会を開催する予定でおります。時間の許す限り、講師の先生方と親睦を深めて頂きたいと思っております。

今後も引き続き年1回のセミナーを開催していく予定ですので、研修医の皆様の多数の参加を心よりお待ちしております。

上肢を語る会代表世話人会長
船橋整形外科 市川wクリニック

ク

森石 丈二